

ひながっ子だより

なかまとつながるひながっ子

◇ 算数科 少人数授業～重点単元の取組～



5月下旬から7月中旬にかけて、算数科では各学年で重点単元を設定し、子どもたちがその単元の理解がより定着するように指導者を1名多くして指導にあたるように取り組んでいます。3年生以上はこれまでも複数の指導者による指導を行ってきましたが、重点単元ではさらに少人数グループに分けることによってきめ細かく指導を行うようにしています。1・2年生は担任による指導に1名指導者が加わることで、複数で個に対応した指導が行えるようにしています。

【各学年の重点単元】 1年「のこりはいくつ ちがいはいくつ」 2年「ひき算のひっ算」
 3年「あまりのあるわり算」 4年「わり算のひっ算」 5年「小数のわり算」 6年「対称な形」

◇ 南中学校区「学びの一体化」授業公開～6年生「命を見つめて」～



6月27日(木)、南中学校区の保幼小中の授業公開として、2園4校の先生に6年生の「総合」の授業を参観してもらいました。授業は「命を見つめて」というテーマで、重い病気を克服した中学生(猿渡瞳さん)が書いた弁論大会の原稿を資料として学習を進めました。資料を読んで共感する部分をグループや全体で話し合いました。授業後の研修会では、成長段階に応じて子どもに

どのような力をつけていくとよいかなどについて参観者で話し合いました。その中で「子どもたちが進んであいさつをしてくれてうれしかった」という声をいただき、私もうれしくなりました。



◇プールから聞こえる歓声～水しぶきをあげて泳ぐ子どもたち～



6月17日(月)にプール開きをしてから雨の日が少なく、順調に水泳学習が行われています。プールからは毎日のように子どもたちの元気な声が聞こえてきます。1年生の様子を見に行ったときは、プールの中で肩までつかりながらプールサイド沿いをぐるぐる回っていました。3年生は伏浮き・バタ足を中心に練習していました。6年生は2.5m泳いでみて現在の泳力を測定していました。これから1学期末までにできる限りプールに入って、子どもたちが水に親しんだり泳力を高めたりできるよう指導していきたいと思っております。

◇四日市市教育委員会夏季研修会のご案内

四日市市教育委員会から保護者の方へ下記研修会への参加案内がきました。都合がつく方は参加してみたいでしょうか。

1 特別支援教育講座① 「早期発見・早期支援が二次障害を防ぐ」

<講師> 小野 次朗 (和歌山大学教育学部教授)

<日時・場所> 7月23日(火) 14:00～16:00 文化会館第2ホール

<その他> 事前の申し込みは必要ありません。

2 四日市子ども科学セミナー

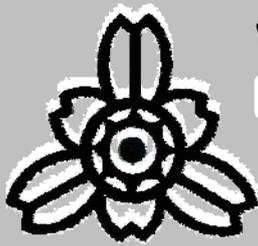
JAXA 古川宇宙飛行士がやってくる! 「四日市発! 宇宙への旅」

<講師> 古川 聡 (JAXA 宇宙飛行士)

<日時・場所> 8月12日(月) 14:00～15:30 文化会館第1ホール

<その他> 事前の申し込みが必要です。申し込みについては、別途配付しました「四日市子ども科学セミナー」パンフレットや四日市子ども科学セミナーHPをご覧ください。往復はがきまたはメールで申し込んでください。【締切は7月8日(月)】





ひながっ子だより

No.10

なかまとつながるひながっ子

夏休みまで今日を入れてあと4日となりました。梅雨明けと同時に毎日厳しい暑さが続き、体調をくずす子どもも出ています。熱中症にかからないよう、水筒やタオルの持参、帽子の着用等、ご協力願います。



◇熱中症について考えよう～第1回学校保健委員会～

4日(木)、6年生、教員、保護者の方々が、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生が体育館に集まり、第1回学校保健委員会が開かれました。テーマは「熱中症を予防しよう」です。初めに保健委員会の子どもたちが熱中症に関わる劇を行いました。3つの場面(①水分のとり方②具合が悪くなったときの手当③体調を崩した後の対応)



を想定しながら、各場面で自分ならどうするかをみんなで考えました。最後に、学校医の三原先生から熱中症になりやすい原因やかかった場合の応急措置などについて、資料をもとにお話を聴きました。(詳しくは先日配付した保健だよりをご覧ください。)熱中症に特に気をつけなければいけない季節を迎えました。学んだことを今後の生活に生かして行ってほしいと思います。なお、2月に第2回学校保健委員会を開催する予定です。

◇交通事故に気をつけて～交通安全教室～



8日(月)、四日市自動車学校の指導員に来ていただいて、交通安全教室を行いました。体育館の暗いステージの上にいくつかの影がうっすら見えています。3つ? 4つ? ... オートバイのライトを当てるとなんと6体の人形が浮かび上がりました。真っ暗ではないステージでも、黒い人形まで見えた人はほとんどいませんでした。夜には黒色が見えにくいことを学びました。指導員の皆さん

には、スライドやDVDを使いながら自転車で道路を走るときに気をつけることや、信号の正しい意味、ルールを守ることの大切さなどをわかりやすく教えていただきました。大型トラックの横を走っている自転車がトラックに巻き込まれる場面では、「ワーッ」「危ない!」といった声が子どもたちから上がっていました。最後のまとめとして学んだことを〇×クイズで確かめました。早速、学んだことを守って安全に道路を行き来することを約束して学習を終えました



◇「税」について考える～6年生「租税教室」～



このか 9日（火）、6年生が四日市法人会の方に

「租税教室」をしていただきました。紙芝居や3択クイズをまじえて税についてわかりやすくおしえてくださいました。生活に欠かせない水道や学校の施設・道具など身近なことが「社会の会費」である税金によって支えられていることを楽しみながら学ぶことができました。最後に1億円の札束の

見本（大きさと重さは本物と同じ）を一人ずつ持つ経験をしました。6年生は、今回学んだことを生かして、「税に関する絵はがきコンクール」に作品を出品します。

◇「薬」について考える～6年生「薬物乱用防止教室」～

11日（木）、6年生は、学校薬剤師の平先生に来ていただき、「薬物乱用防止教室」を行いました。私たちの体の中には菌が100兆も住んでいると聞いたときは「ウエーツ」となっていました。ほとんどが体に悪いものではなく、健康のために欠かせない菌もいることを教わってホッとした様子でした。薬を飲むときや保管しておくときに気をつけること、飲み方を誤ると副作用など体に悪い影響があること、薬は正しく使わなければ効果がないことなどをしっかり学んだ1時間でした。

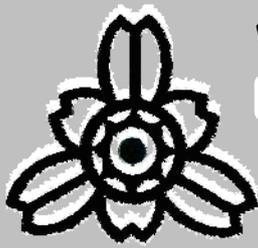


◇5年生～日永中央保育園児との交流～



11日（木）、5年生が日永中央保育園の園児と交流活動を行いました。体育館でグループごとに顔合わせをして校内探検に出かけました。1年生の教室では、来年の自分の姿を想像しているのか園児たちはしばらく動かず、授業の様子をジューッと見ていました。また、図書室ではカーペットに座って絵本の読み聞かせをするグループもありました。5年生は、園児の手をしっかりとつなぎ、校内を案内してしま

した。ろう下は右側を歩くことなど学校のルールやマナーを歩きながら教える姿もありました。この後、グループ遊びを楽しんで保育園に送っていきました。



ひながっ子だより

なかまとつながるひながっ子

◇有意義に過ごそう！！夏休み

校庭の木々から聞こえるセミの鳴き声が日ごとに大きさを増しています。夏休みまであと1日となりました。44日間という長い休みに入りますが、夏休みは心身をリフレッシュする大切な期間であると同時に、子どもたちが大きくたくましく成長できるチャンスでもあります。自然体験を行ったり、自由研究に取り組んだり、スポーツしたり、家の手伝いをしっかりと、時間を十分にかけ取り組むことで子どもたちの力を大きく伸ばせるよい機会であると思います。その一方で、1日の生活リズムを自分の力でしっかりと整えないと、1学期に身に着けたこともできなくなってしまう恐れがあります。子どもたちにとって、「成長の夏休み」となるようにご家庭でもご協力をお願いします。また、交通事故等に十分注意するようにご家庭でも声かけをお願いします。



2学期に一段とたくましくなった子どもたちの姿を見られることを楽しみにしています。

◇みんなで見守り～通学路交通安全キャンペーン～



17日(水)朝7時45分ごろから、学校北側の笹川通り陸橋付近を中心に、「通学路交通安全キャンペーン」を実施しました。これは全市的な取組として毎年1回行われていて、四日市南警察署、四日市南地区交通安全協会、PTA、学校が連携して子どもたちの登校の様子を見守りました。たくさんの方が陸橋付近に並んでいて子どもたちは少しばっくりした表情でしたが、元気よく「おはようございます」と挨拶をして通り過ぎていきました。1学期に大きな交通事故もなく、子どもたちが安全に安心して登下校できたのも、こうした方々をはじめ、毎日見守りボランティアとして通学路に立っていただいている多くの方々のおかげです。本当にありがとうございます。2学期もよろしくお願いします。



◇ インターネットの使い方は？～5年生「e-ネット安心講座」～



16日(火)、5年生の「e-ネット安心講座」がありました。CTYの方に来ていただき、インターネットの安全な使い方について教わりました。

インターネットは便利であると同時にさまざまな危険が潜んでいること、安全に楽しく使うためには家の人とルールを決めること、使う上でのマナーを守るなどについて学習しました。高学年になるにつれて、パソコンや携帯電話等でインターネット

が身近な存在になるので、学んだことをぜひ日常生活に生かしてほしいと思います。ご家庭でも、一度インターネットの使い方について、話し合ってみてください。

◇ 水の事故から自分の命を守るために～6年生「着衣水泳」～



暑さが厳しくなり、新聞等で水難事故のニュースを耳にするようになりました。子どもたちがそうした事故にあわないように、自分の命は自分で守ることをねらいに、17日(水)に6年生が着衣水泳を行いました。①着衣をつけたまま水に入ると、体の自由が利かなくなることを体感する②万一溺れたときにはどうすればよいかを学ぶ、この2点について学習しました。

着衣を身につけてプールに入った子どもたちからは「重い!」、「泳ぎにくい!」などの感想が聞かれました。続いてペットボトルや膨らませたビニール袋を胸のあたりに抱き、ラッコのように水に浮くことで呼吸を確保できることを学びました。最後に水の中で着ていた着衣を脱ぐ体験をし、着衣がまとわりついて脱ぎにくいことも体感しました。水の中では無理に着衣を脱ごうとせず、体を浮かせて呼吸を確保することが大切であることを再度確認して終了しました。